

令和2年2月 データから見た業界の動き

■ 概 況

2月の山梨県内のDI値は、業種全体で売上高は▲32ポイント（前年に比べ▲10）、収益状況は▲32ポイント（前年に比べ▲16）、景況感▲32ポイント（前年に比べ▲18）となり、いずれの項目とも昨年より大きく悪化している。

製造業では、売上高▲30（前年に比べ▲25）、収益状況▲40（前年に比べ▲40）、景況感▲45（前年に比べ▲30）と前年に比べ悪化した。新型コロナウイルスの影響は、食料品製造業では外食を控える動きから受注が減少、中国を取引先とする宝飾業界では展示会の延期や中止により大きな機会損失や売上減少が報告された。

また、主に中国から原材料を調達する機械製品部品加工や織物業界でもサプライチェーン寸断による影響が深刻となりつつある。

非製造業では、売上高▲33（前年に比べ±0）、収益状況▲27（前年に比べ±0）、景況感▲23（前年に比べ▲10）と前年対比では悪い数値のまま推移している。建設業及び警備業の業界では売上は若干改善したが、その他の業種では不変あるいは悪化。新型コロナウイルスの感染防止でイベントやサービスの中止・縮小により、売上や受注の減に繋がっている。

特に宿泊業ではインバウンドを中心に旅行者が減少、卸売業界（ジュエリー）では展示会が延期のために商談が行えず営業機会の損失が経営の先行きにおいて大きな不安要素となっている。また、運輸業（タクシー）においても利用者の減少が進んでいるとの報告があった。

当会が2月後半から行った「新型コロナウイルスの県内中小企業への影響調査」では企業活動への影響は「大きな影響があり」「大きな影響が出始めている」「今後、影響が出る」と考えている事業者は全体の85%を占めた。中央会では、会員等からの情報や支援ニーズを元に中小企業者に必要な支援策について行政機関に対して随時働きかけを行っていく。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工業）	新型コロナウイルスの感染拡大の影響からギフト・ホテル・レストラン・居酒屋向けの業務用が不振で、売上高は前年同月比94.4%。
食料品（洋菓子製造業）	積極的な店舗展開やテレビ放映により洋菓子・和菓子ともに順調。海外向けは横ばいながら売上高は前年同月比129%。
食料品（パン・菓子製造業）	新型コロナウイルスの影響で菓子メーカーにおいて、売り上げが大きく減少している。組合員の中に大きな売り上げ減少は無いが、今後の影響を懸念している。

食料品（酒類製造業）	新型コロナウイルスの影響から飲食店での無尽、宴会等のキャンセル多発している。ホテルをはじめ、飲食時のお酒が出ないため、飲食店も卸屋も酒蔵も売上にかなり影響が出てきている。また、組合イベントの開催中止のため販路開拓補助金の活用ができない。そのため、参加者への払い戻し費用や会場、その他経費を自己負担しなければならない。イベント保険もきかず、組合員への負担金を求めることもできず厳しい状況。
食料品（酒類製造業）	新型コロナウイルスの影響から売り上げが減少傾向にある。
繊維・同製品（織物）	新型コロナウイルスの影響から原材料の調達が滞ることを懸念している。インテリア関係の原材料は3月分程度の在庫はあるが、4月以降の調達が予想できない。また、発注が激減している。
印刷・同関連業	インバウンドの減少から、観光関係の取引先が不振となることで、二次的な影響が出てくる恐れがある。
窯業・土石（砂利）	砂の需要が多く砂不足が続いている。台風で影響を受けた峡南地区の現場復旧が終わり、今後は需要に応える供給が期待される。
窯業・土石（山碎石）	今後は、新型コロナウイルスの感染拡大により工事の中止による工期延長や工事発注の遅れ、従業員の出社要員低下による生産量の低下が考えられる。
鉄鋼・金属 （金属製品製造業）	新型コロナウイルスの影響から、中国からの部品の調達が難しい状況。3月には在庫がなくなる見込みであり、国内での部品調達を検討している。
一般機器 （金属製品製造業）	業界では世界経済の減速により厳しい状況が続いているが、新型コロナウイルスの影響でさらに景気の減速が進むと考えている。新型コロナウイルスの影響から発注数の減少や、学校の休校による生産ラインでの人手不足が発生する恐れがある。
電気機器 （電気機械部品加工業）	年度末の多忙期である。製品の制作納期は間に合わせているが、現場への搬入・据え付けに若干の遅れが出ている。
電気機器 （電気機械部品加工業）	年初めに発注の増加の情報があったが、現在のところは改善せず厳しい状況が続いている。
宝飾（研磨）	国内外の展示会のキャンセルにより、3月以降は業績不振に陥ると考えている。
宝飾（貴金属）	新型コロナウイルスの影響により中国との取り引きが停止している。消費増税の影響と併せて売上高は前年同月比で20%減少している。

● 非製造業

卸売（ジュエリー）	米中、米イラン、香港デモに加えて新型コロナウイルスの影響から当業界は厳しい環境下にある。3月に予定されていた香港ジュエリーショーは5月に順延される。
-----------	--

卸売（青果）	中国の経済停止に伴い、輸入野菜の量が確保できない地域（静岡）が出てきている。静岡においては、ほぼ輸入玉ねぎを確保できない企業が増加傾向にあるため、組合員への受注が増加傾向にある。 パート・アルバイトを含め全従業員に体温の計測結果を報告してもらっている。マスク、手洗いなどの徹底のほか、日頃有休を取得しない従業員（パート・アルバイト含む）には、有休取得も促している。マスクの確保も難しいがアルコール消毒液の不足が心配。
小 売（青果）	旅館や飲食業への納品が減少。長期化すると資金繰りが悪化すると考えている。中国産野菜の減少を危惧している。
小 売（食肉）	新型コロナウイルスの影響によるインバウンド客のキャンセルから、ホテル・飲食店への納品が無くなってしまうことが危惧される。学校給食や企業等の歓送迎会や会合の中止によって今後さらに悪化すると考えている。
小 売（生花）	幼稚園や小・中学校の卒業式の縮小や中止に伴い、花束などのキャンセルが続いている。幼稚園、保育園では、花束だけでなく花鉢を大量に使用するため、年末に受注を受け早めに発注を掛けているため、キャンセル分はすべて事業者負担となり、利益確保に苦慮している。また、パート・アルバイト募集をしても応募がなく人手不足が続く、家族従業員で回せる分の仕事量しか受けられない状況。新型コロナウイルスの影響が拡大すれば、テナント展開している花屋は店を閉めなければならない状況となる。
小 売（ガソリン）	原油価格が下落し卸売り価格も下がっている。SSでは仕入価格の高い在庫が多くあるため価格転嫁に苦慮している。
商店街	組合員の事業承継が課題である。送別会等の予約キャンセルが止まらず売り上げ減少。
宿 泊 業	新型コロナウイルスの影響から宿泊者が減少している。外国人だけでなく日本人の宿泊キャンセルが多数ある。また、宿泊だけでなく会議や宴会の中止によるキャンセルがあり、週末でも空室が目立つ。今後の先行き不透明。
美 容 業	組合員の高齢化が進み、組合員数が減少傾向にある。例年、年度末は美容院の作業員が退職し人手不足となる。業界として慢性的な人手不足になっており福利厚生強化といった定着につなげる取り組みの必要性を感じている。
産業廃棄物処理	新型コロナウイルスによりどのような影響があるか先行き不透明。業界においては廃棄物の発生が著しく減少しており、リーマンショックに近い経済状況に突入していると考えている。
一般廃棄物処理	今後は、新型コロナウイルスの組合員企業において感染者が出た場合に備え、各組合員の回収順路や収集箇所の調査を行い、万一に備えている。また保護具の着用や、降車時に車内の衛生管理を徹底している。
警 備 業	公共工事が好調であったが、新型コロナウイルスの影響から駐車場警備、施設保安警備のキャンセルがあり、全体の売上高は前年同月比で5%増に落ち着いた。人件費等の経費の増大が収益を圧迫している状況は変わらない。例年、年度末から新年度当初は公共工事がほぼないため、春の祭典を含む各種イベントの交通誘導を行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止・延期がはじまった。公共工事がはじまる6月までは相当な経営への打撃が予想される。
建設業（総合）	前年同月比で件数は16%増加、請負金額では89%と大幅に増加している。2月末累計では件数は2%減少しているものの、請負金額は8%の増加となっている。国交省の「施工中の工事での感染症の罹患に伴う対応」の中では施工の継続が困難な場合は、発注者は工事の一時中断を指示するよう依頼があったことにより、山梨県などの発注者の対応次第では重大な影響が予想される。

建設業（型枠）	公共・民間工事の型枠工事は年末でほぼ完了した。新年度4月から年内の建築工事はあるが、来年以降の仕事の確保に不安を持つ組合員が少なくない。
建設業（鉄構）	新型コロナウイルスの影響により、景気自体が落ち込んでいるような感覚となり、物件の動きが停滞し仕事量が少なくなっていると考えている。
設備工事（管設備）	改正水道法施行により、特定給水装置工事事業者制度の更新制導入が組合員全体に進みつつある。
運輸（タクシー）	インバウンドを含む観光客の減少と共にサラリーマンの出張など、人の異動が非常に少なくなり閑散とした状態と感じている。
運輸（トラック）	消費増税後の景気後退に加え、新型コロナウイルス感染拡大により経済が停滞し更に景気が悪化することを懸念している。
サービス業（FP）	新型コロナウイルスの影響により受託事業の実施ができない。そのため、キャンセル費用等は自己負担となり経営が圧迫される恐れがある。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2019/2	2020/1	2020/2	2019/2	2020/1	2020/2	2019/2	2020/1	2020/2
売 上 高	-5	-25	-30	-33	-37	-33	-22	-32	-32
収 益 状 況	0	-20	-40	-27	-33	-27	-16	-28	-32
景 況 感	-15	-30	-45	-13	-23	-23	-14	-26	-32

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D. I 値

